

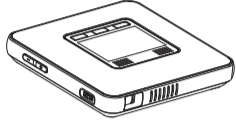
ミニプロジェクターM-i1 かんたんガイド

詳しくは、弊社ホームページ（<http://cweb.canon.jp/mini-projector>）に掲載の「使用説明書」をご覧ください。また、本紙裏面の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

6T6-0106-010

同梱品

次の同梱品が揃っていることを確認してください。
※同梱品については、事前の予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



本体



USBケーブル(1m)
USB Type-A to Micro-USB



かんたんガイド

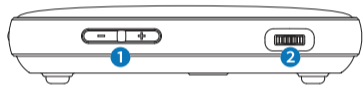
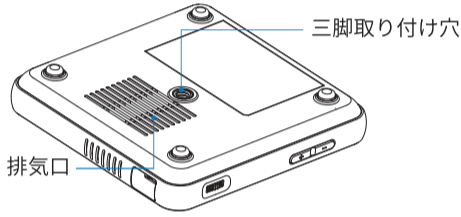
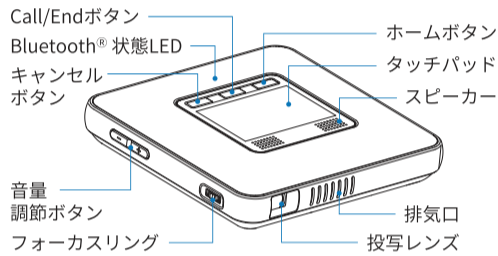


保証書

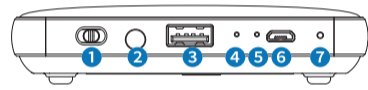


電源アダプター

各部分の名称



- ① 音量調節ボタン
- ② フォーカスリング

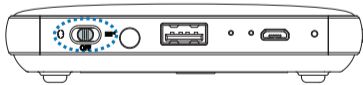


- ① 電源スイッチ
- ② 音声出力端子
- ③ USB Type-A 連結端子
- ④ マイク
- ⑤ 充電ランプ
- ⑥ 電源入力端子
- ⑦ 初期化ボタン

ボタン	機能
	電源スイッチ スライドスイッチを右にするとプロジェクターモードの電源がONになります。スライドスイッチを左にするとBluetooth®モードの電源がONになります。スライドスイッチを中央にすると電源がOFFになります。
	ホーム プロジェクターモード時：(短く押すと)ホーム画面が表示されます。
	Call/End プロジェクターモード時：画面選択のOKボタン機能 Bluetooth®モード時：携帯電話などから電話をかけたり、受けたり、切ったりすることができます。
	キャンセル プロジェクターモード時：短く押すと前の画面に戻ります。
	音量 音量を調整します。
	フォーカスリング フォーカスリングを左右に回して、投写画面のピントを調整します。
	初期化ボタン 製品が動作しなくなったり、あるいは電源がオフにならない場合には、先の細いピンで初期化ボタンを約1秒間押ししてください。電源がオフになり、初期化されます。

電源を切る

プロジェクターモードやBluetooth®モードで電源スイッチを中央(OFF)にすると、電源がOFFになります。



- NOTE
 - ・プロジェクターモードの場合、電源スイッチを中央(OFF)にすると、投写画面上に終了(Power off)確認のダイアログボックスが表示されます。OKを選択すると、電源がOFFになります。
 - ・キャンセル(Cancel)を選択すると、引き続きプロジェクターモードで使用できます。その場合は、電源スイッチをプロジェクターモードに戻してから使用してください。

タッチパッドの操作

- NOTE
 - ・タッチパッドに、電気が通っている物が触れないようご注意ください。静電気等の電氣的刺激により、誤作動や故障を起こすことがあります。
 - ・タッチパッドの端はタッチ認識しない部分のため、該当部分はタッチパッドが正常に動作しないことがあります。
 - ・タッチパッドは指でタッチして下さい。

選択/実行

アプリの実行、目的メニューの選択、画面表示ボタンのクリック、キーボード入力の際は、タッチパッドを軽くタップします。



メニュー表示

2回タップして2回目を長押しするとメニューが表示される。



画面を上下に移動する

画面を上下方向に移動させるには、タッチパッドを二本の指でタップし、上下にドラッグします。



画面を左右に移動する

画面を左右方向に移動させるには、タッチパッドを二回タップし、押した状態で左右に長めにドラッグします。または、ページ送りの矢印か、該当ページへのポイントをタップします。



ホーム画面

ホーム画面は、製品の主なアプリケーションおよび機能を始めるためのスタート画面です。ホーム画面のアイコンをタップして、指定したページおよび機能ウィンドウを開くことができます。



- ① ミラーリング：Android OSやWindows OSを搭載したデバイスとの接続時に起動します。
- ② シェアリング：iOSを搭載したデバイスとの接続時に起動します。
- ③ My App：インストール済みのアプリケーションを起動できます。
- ④ ブラウザ：インターネットに接続するために、ブラウザを起動できます。
- ⑤ マルチメディア：動画、音楽、アルバムアプリケーションを起動できます。
- ⑥ 設定：本機の設定確認、変更ができます。
- ⑦ ステータスバー：デバイスのステータスアイコンや日付、時間などが表示されます。

- 100%：バッテリーの残量
- Wi-Fiがオンになっているが、ネットワークに繋がっていない
- Wi-Fiがネットワークに繋がっている
- アラームが設定されている
- 14:46：現在の時刻
- Mon, Jul 17：現在の日付

外部機器のワイヤレス接続

無線接続時のご注意

- ・スマートデバイスで起動中のアプリケーションとその他動作などで、無線接続時に転送速度に遅延が発生する可能性があります。
- ・スマートデバイスのOSとメーカー毎の無線環境によって性能に差が生じることがあります。
- ・ミラーリング動作は「SoftAP」が搭載されているので外部ルーターの接続が無くても無線接続が可能です。DLNAを利用するためには、スマートデバイスや無線に対応するノートパソコンにDLNA対応に必要なアプリケーションやメディアプレイヤーのインストールが必要です。詳しくはお使いの機器の取扱説明書にてご確認ください。
- ・Android OSを搭載したスマートデバイスからのミラーリング接続には、Android OS 4.2.2以上が必要です。
- ・iOSデバイスの場合、シェアリング機能を使用するには、iOS 8.0以上が必要です。
- ・各デバイスに搭載されたOSとの接続は、Canon Korea Business Solutions Inc.による独自の接続動作確認であり、デバイスの各社における動作を保証するものではありません。また、接続対応OSの最新バージョン情報については弊社ホームページにてご確認ください。
- ・DLNA方式で無線接続している場合、スマートデバイスのインターネット通信は4Gあるいは3Gでの接続となります。
- ・スマートデバイスと無線接続後動画再生時、スマートデバイスのプレイヤーにより途中から再生しようとするとバッファリングが発生し接続が正常に行えない場合がありますので、再生する動画ファイルを頭出し状態にしてから接続してください。
- ・無線接続モードを変更する際は、必ず接続中のデバイスの通信を終了させてから本機の無線接続待ち受け状態を確認の上、モード切り替えを行ってください。
- ・無線接続環境では、接続機器または接続環境により無線品質に差が生じることがあります。

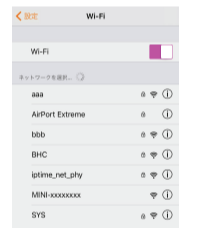
シェアリング接続 (iOS の場合)

※下記イラストはイメージです。お使いの機器のOSバージョンにより異なります。

- 1 ホーム画面から「シェアリング」アイコンをタップします。



- 2 iOS デバイスのWi-Fi設定から接続するデバイス名を選択して、Wi-Fi ネットワークに接続します。本機のデバイス名は「MINI-xxxxxx」と表示されます。



- 3 iOS デバイス画面の下部から上向きにスワイプしてAirPlay ミラーリングをオンにし、iOS デバイスと接続するデバイス名を選択します。iOS デバイスと接続するデバイスを選択した後、iOS デバイスからミラーリングされた画面が投写されたら、接続完了です。



- 4 ご使用後は、必ずiOSのAirPlay ミラーリング機能をオフにしてください。

ミラーリング接続 (Android OSの場合)

※下記イラストはイメージです。お使いの機器のOSバージョンにより異なります。

- 1 ホーム画面から「ミラーリング」アイコンをタップします。



- NOTE
 - ・ミラーリング機能を使用するには、機器設定でWi-FiをONにします。
 - ・Wi-FiがONになっていることを確認して下さい。

- 2 スマート機器をミラーリングモードにします。

- ① スマートデバイスのWi-Fi機能をオンにします。(インターネットに接続している必要はありません)
- ② メニューの設定から「ミラーリング」機能アイコンをタップし、有効にします。

- NOTE
 - ・スマートデバイスメーカーやアンドロイドのバージョンの違いにより、名称やアイコンが異なることがあります。(Screen mirroring, Smart View, Miracast, Wireless Display, Smart Viewなど)



- ③ スマート機器に接続できる機器を検索します。
- ④ 本機を選択すると、ミラーリング機能が実行されます。

- NOTE
 - ・プロジェクターへ接続するデバイスの接続確認画面が表示され、接続/解除を選択できます。
 - ・接続を選択し、正常に接続されると、スマート機器の画面がプロジェクターに投写されます。
 - ・ご使用後は、必ずスマートデバイスの「ミラーリング」機能をオフにしてください。



ミラーリング接続（Windows OS の場合）

- プロジェクターのホーム画面から「ミラーリング」アイコンをタップします。

NOTE ・ミラーリング機能を使用するには、機器設定でWi-FiをONにします。
 - Wi-FiがONになっていることを確認して下さい。
- PC 側の Wi-Fi 機能をオンにしてください。（インターネットに接続している必要はありません）
 - PC 画面上でチャーム バーを出し、メニューから「デバイス」>「表示」をタップします。

NOTE ・キーボード左下の「Windows」キーと「K」キーを同時に押すと、すぐにデバイスメニューが開きます。
 - OSバージョンにより名称が異なります。お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。
 - 表示画面からプロジェクターを選択します。

NOTE うまく接続ができない場合は、以下の手順を再度実施下さい。
 - 表示画面から「ワイヤレスディスプレイの追加」を押す。
 - 「プロジェクター」にある本機のデバイス名を選択し、デバイスの削除を選択します。
 - 「デバイスを追加する」を選択し、本機のデバイス名を選択します。
 - ※本機のデバイス名は「MINI-xxxxx」と表示されます。
プロジェクター画面にミラーリングされた画面が表示されたら接続完了です。
- ご使用後は、必ず PC 側で「ミラーリング」を解除してください。

NOTE ・ミラーリング接続中にキーボード左下の[Windows]キーと[K]キーを同時に押すと、設定ウィンドウが表示されます。設定ウィンドウで「解除」をタップします。

Bluetooth[®] 機能の利用

Bluetooth[®] 接続時のご注意

- Bluetooth[®] モードとプロジェクターモードは併用できません。
- Bluetooth[®] 接続時は、接続デバイスまたは接続環境によって、通信の品質が異なる可能性があります。
- Bluetooth[®] 機能を利用して送受信したデータの損失、遮断および誤用により発生する問題に対して、当社では一切責任を負いかねます。
- データを送受信するデバイスの間に障害物がある場合、ネットワークの接続距離が短くなる可能性があります。
- Bluetooth[®] SIG(Special Interest Group)認証を受けていないデバイスを含め、一部のデバイスとは互換性がないことがあります。
- Bluetooth[®] 機能を違法な行為(違法公衆送信、違法転送、営利目的の違法複製など)に利用しないでください。それらの行為によって発生する問題に対して、当社では一切責任を負いかねます。

Bluetooth[®] のペアリング

- 電源スイッチを左にスライドして、Bluetooth[®] の接続待機モードに移行します。（ピープ音が発せられます。）
- Bluetooth[®] の接続待機モードに入ると、本体上部の青のランプが点滅します。
- Bluetooth[®] 接続が完了すると、お知らせ音とともに本体上部の青のランプが点灯します。

NOTE ・本機とペアリング履歴のあるデバイスの場合、自動的に本機と接続されます。
- Bluetooth[®] 接続を解除するか、または使用を中止する場合、電源スイッチを中央にスライドして、電源をオフにしてください。

ソースデバイス側で Bluetooth[®] のペアリング

- 接続するデバイス側で Bluetooth[®] 機能をオンにします。
- Bluetooth[®] の検索デバイス リストから「MiniPJ BT SPK」を選択します。
- 本機が検索リストに表示されない場合、デバイス名を表示するオプションをオンにするか、または Bluetooth[®] 機能を再起動してください。
- Bluetooth[®] 接続が完了すると、デバイスのステータスバーに Bluetooth[®] 接続のアイコンが表示されます。

ソースデバイス側で Bluetooth[®]ペアリングを解除

- 設定画面から Bluetooth[®] を選択します。
- ペアリングされたデバイス名が表示されます。
- ペアリングを解除するデバイス名をタップします。
- 「登録解除」を選択します。

USBでの接続

本機をリムーバブル ディスクとして使用する

- NOTE** ・本機をリムーバブルディスクとして認識させ、PC内の音楽や動画、画像、文書ファイルを本機に転送したり、または本機からPCに転送できます。
 - ファイル転送中には、本機とUSBケーブルの接続が外れないようにしてください。機器とデータに損傷の恐れがあります。
 - USBハブを使って接続する場合、正常に接続しないことがあります。PCのUSB端子に直接接続してください。

- 本機とPCを同梱のUSBケーブルで接続します。あらかじめ、本機の電源をオンにし、プロジェクターモードにしておいてください。
- ホーム画面より設定を選択。USB項目を選択し、PCと接続されていることを確認後、接続を選択します。
- PCを操作し本機とPCの間でファイルの転送が可能となります。

USBメモリーの認識

- NOTE** ・ファイル転送中には、本機とUSBメモリーの接続が外れないようにしてください。機器とデータに損傷の恐れがあります。
 - セキュリティー機能付きのUSBメモリーは使用できません。

- 本機とUSBメモリーを接続します。あらかじめ、本機の電源をオンにし、プロジェクターモードにしておいてください。
- USBメモリーが外部メモリとして認識されると、読み書きできます。

USBマウスの認識

- 本機とUSBマウスを接続します。あらかじめ、本機の電源をオンにし、プロジェクターモードにしておいてください。
- タッチパッドと同一の機能を使用できます。

外部スピーカー使う

外部スピーカーを通じて音響を聞き取る場合には製品のオーディオ連結端子と外部スピーカーを連結してください。

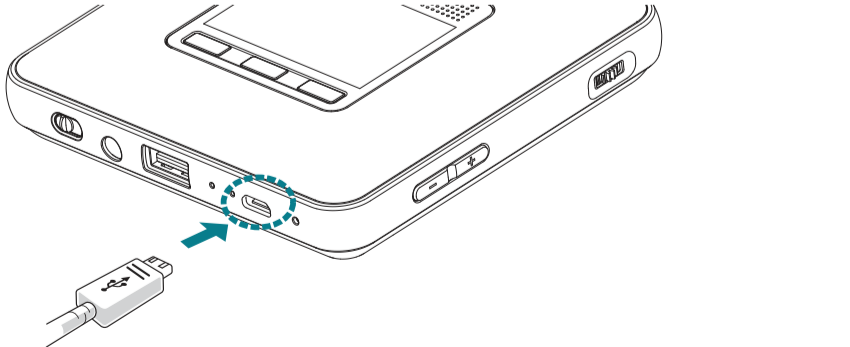
- NOTE** ・外部スピーカーを連結時、内部スピーカーは動作しないうです。
 - 必ず外部スピーカーだけ使ってください、使わない時には外部スピーカーを分離してください。

充電機能

製品の充電

- 電源入力端子に本機に同梱のMicro USB ケーブルを接続してください。
- USBケーブルに電源アダプター接続後、コンセントに電源アダプターのプラグを接続してください。
- 充電ランプが緑色に変わったら、充電器と製品を取り外してください。

- NOTE** ・充電ランプの色
 - 赤色：充電中
 - 緑色：充電完了



製品の充電時間と標準時間

・製品のご購入後に初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、使用する前にまずバッテリーを十分に充電してからご使用ください。

充電時間	最長4時間	駆動時間	最長2時間
------	-------	------	-------

- 充電時間と駆動時間は、充電状態と使用環境によって異なる場合があります。
- バッテリーは経年劣化とともに駆動時間が徐々に短くなります。

製品仕様

製品名	ミニプロジェクターM-1l					
光学	映像素子	DMD	入力端子	USB Bluetooth [®]	USB Type-A BT4.0	
	解像度	WVGA (854x480)	出力端子	音声	Ø 3.5mm ステレオミニジャック	
	最大入力解像度	Full HD (1920x1080)	端子	内蔵スピーカー	3W(モノラル)	
	光源	RGB LED	無線通信	対応OS*	iOS、Android OS、Windows OS	
	画面サイズ	最小14型/最大84型		規格	周波数	2.4GHz/5GHz
	焦点調整	手動			Channel	802.11 a/b/g/n
	アスペクト比	16:9	電源	製品電源入力	DC 5V, 2A	
	画面オフセット	100%	規格	サイズ(WxDxH)	105 X 105 X 20mm	
	コントラスト比	800:1		重量	235 g	
投写比	1.6：1	動作温度		0~40℃		
充電ランプ	充電中	赤色	環境	動作湿度(相対)	0~80% (結露しないこと)	
	充電完了	緑色				
バッテリー容量	容量	14.06Wh (3.7V, 3,800mAh)				
	充電時間	最長4時間				
	駆動時間	最長2時間				
周波数範囲		WLAN：2412MHz～2472MHz / 5180MHz～5240MHz BT：2.4GHz~2.48GHz				
アダプター仕様	アダプター種類	電源アダプター				
	モデル名	G101J-050200-1				
	製造メーカー	Dongguan Fastbon Electronics Co., Ltd.				
	入力	AC 100-240 V, 50/60 Hz, 0.35 A				
出力	5V ■ 2A					

*最新のOSバージョン対応状況については弊社ホームページ上にてご確認ください。

安全にお使いいただくために

電波法について

『本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備です。』

Indoor use only

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz/5GHz 帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。

電子レンジの近くでは使用しないでください

電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。

本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません

本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなかったり、通信速度が低下する場合があります。その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。

移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、お客様相談センターへご連絡の上、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

安全のための警告/注意事項

- 警告**：取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
- 注意**：取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

- 警告**・アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
- アクセサリなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。万一、内部に入った場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。
- 注意**：次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。不安定な場所/振動のある場所/雨や雪が降りかかるような場所/高温になる場所/火気に近い場所 通風口をふさぐおそれのある場所（壁の近く、ベット・ソファァー・毛足の長いじゅうたんの上など）/風通しの悪い場所/湿気やホコリの多い場所/屋外や直射日光の当たる場所
- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。

電源について

- 警告**・付属の電源アダプター以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源アダプターを傷つける、加工する、引っばる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源アダプターに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源アダプターは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。
- 本機に付属の電源アダプター接続して使用する際は、非常時にすぐ電源アダプターが抜けるよう、本機をコンセントの近くに設置し、電源アダプターの周囲に物を置かないでください。

取り扱いについて

- 警告**・製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源アダプター、ケーブル類、気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険です。
- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。

メンテナンスについて

- 警告**・清掃のときは、電源をお切りください。火災や感電の原因になります。
- 電源アダプターを定期的に取り、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因になります。
- 電源アダプターは定期的な点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

LED光源について

- 注意**・使用中は強い光が出ていますので、投写レンズを覗きこまないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 本製品の投写光は、IEC62471に基づくリスクグループ2(RG2)に分類されます。

法的告知

免責事項

本マニュアルの図は、製品の動作を説明するための例示であるため、実物と異なる場合があります。また、本マニュアルは予告なしに変更されることがあります。

商標について

DLNAはDLNA.orgの商標または登録商標です。Wi-Fiはwww.wi-fi.orgの商標または登録商標です。Bluetooth[®]はBluetooth.orgの商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。AirPlayは、米国及びその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B